

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【公開番号】特開2014-171370(P2014-171370A)

【公開日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-050

【出願番号】特願2013-43311(P2013-43311)

【国際特許分類】

H 02 P 3/18 (2006.01)

H 02 P 27/06 (2006.01)

【F I】

H 02 P 3/18 101D

H 02 P 7/63 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月6日(2015.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

直流電圧を交流電圧に変換し、圧縮機を駆動させるモータに前記交流電圧を印加するインバータ回路と、

前記インバータ回路を制御して前記モータの運転を制御する制御装置と、

前記インバータ回路に入力される母線電圧を検出する母線電圧検出回路と、

前記インバータ回路と前記母線電圧検出回路との間に配置され、前記インバータ回路への前記直流電圧の供給および停止を切り替えるリレーと、

を備え、

前記制御装置は、前記母線電圧が前記インバータ回路の耐圧に基づいて規定された値を超えた場合、前記リレーを切り替えて前記インバータ回路と前記母線電圧検出回路との接続を解除し、前記母線電圧の上昇を抑制することを特徴とするモータ駆動制御装置。

【請求項2】

前記制御装置は、前記モータを停止させたとき、前記リレーをオフ状態にすることを特徴とする請求項1記載のモータ駆動制御装置。

【請求項3】

直流電圧を交流電圧に変換し、圧縮機を駆動させるモータに前記交流電圧を印加するインバータ回路と、

前記インバータ回路を制御して前記モータの運転を制御する制御装置と、

前記インバータ回路に入力される母線電圧を検出する母線電圧検出回路と、

を備え、

前記制御装置は、前記母線電圧が前記インバータ回路の耐圧に基づいて規定された値を超えた場合、前記インバータ回路のスイッチパターンを切り替えて前記モータの巻線に短絡電流を流し、前記母線電圧の上昇を抑制することを特徴とするモータ駆動制御装置。

【請求項4】

前記インバータ回路は、ブリッジ接続されたスイッチング素子を有し、

前記制御装置は、前記インバータ回路の下側又は上側のスイッチング素子のうち、片側のスイッチング素子を全てオンにし、他方側のスイッチング素子を全てオフにして、前記

モータの巻線に短絡電流を流すことを特徴とする請求項3記載のモータ駆動制御装置。

【請求項5】

前記制御装置は、前記母線電圧が、当該インバータ回路の耐圧以下となるように、前記インバータ回路のスイッチパターンを切り替え、前記母線電圧の上昇を抑制することを特徴とする請求項3から4の何れかに記載のモータ駆動制御装置。

【請求項6】

前記制御装置は、前記モータを停止させたとき、前記インバータ回路のスイッチパターンを切り替えることを特徴とする請求項3から5の何れかに記載のモータ駆動制御装置。

【請求項7】

圧縮機を駆動させるモータと、

請求項1から6の何れかに記載のモータ駆動制御装置と、

を備えたことを特徴とする空気調和機。

【請求項8】

圧縮機を駆動させるモータと、

請求項1から6の何れかに記載のモータ駆動制御装置と、

を備えたことを特徴とする換気扇。

【請求項9】

圧縮機を駆動させるモータと、

請求項1から6の何れかに記載のモータ駆動制御装置と、

を備えたことを特徴とするヒートポンプ式給湯器。